

で き る ようになったこと

ワークシート

□ 代表値, ドットプロット, 度数分布表, 柱状グラフがわかる。→ 87 ~ 95 ページ

1 右の表は、ゆみさんの組の

上体起こしの記録

新体カテストでの

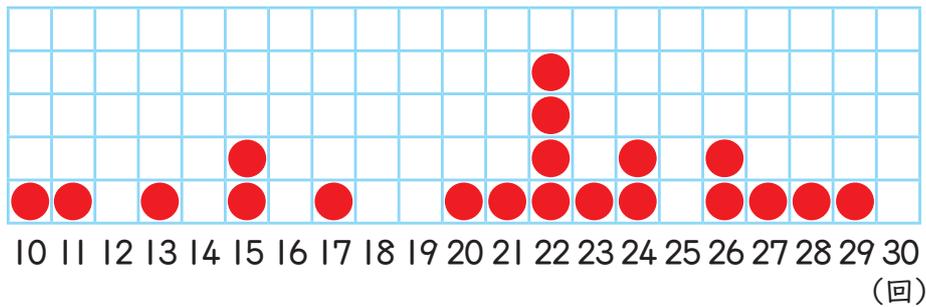
上体起こしの記録です。

次の問いに答えましょう。

番号	回数(回)	番号	回数(回)	番号	回数(回)	番号	回数(回)
1	22	6	13	11	22	16	24
2	11	7	24	12	27	17	26
3	10	8	15	13	20	18	26
4	15	9	28	14	22	19	23
5	21	10	17	15	29	20	22

① ドットプロットをかき、^{さいひんち}最頻値、中央値、平均値をそれぞれ求めましょう。

上体起こしの記録



最頻値 データの中で、もっとも多く現れた値なので、
ドットプロットから22回とわかる。

中央値 データの数が偶数なので、中央にならぶ、10番目と11番目の値の
平均値を求めればよい。10番目、11番目の値は両方とも22回なので、
 $(22 + 22) \div 2 = 22$ (回)

平均値 (データの値の合計) \div (データの個数) で求めるので、
 $(22 + 11 + 10 + 15 + 21 + 13 + 24 + 15 + 28 + 17 + 22 + 27 + 20 + 22 + 29 + 24 + 26 + 26 + 23 + 22) \div 20$
 $= 417 \div 20$
 $= 20.85$ (回)

答え 最頻値 22回, 中央値 22回, 平均値 20.85回

でき る ようになったこと

ワークシート

□ 代表値, ドットプロット, 度数分布表, 柱状グラフがわかる。→ 87 ~ 95 ページ

1 右の表は、ゆみさんの組の

上体起こしの記録

新体カテストでの

上体起こしの記録です。

次の問いに答えましょう。

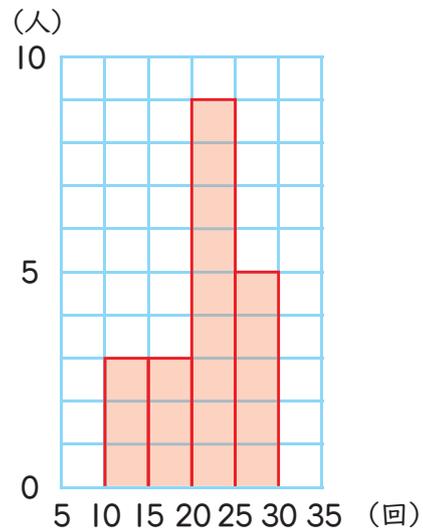
番号	回数(回)	番号	回数(回)	番号	回数(回)	番号	回数(回)
1	22	6	13	11	22	16	24
2	11	7	24	12	27	17	26
3	10	8	15	13	20	18	26
4	15	9	28	14	22	19	23
5	21	10	17	15	29	20	22

② 度数分布表を完成させましょう。また、柱状グラフもかきましょう。

上体起こしの記録

回数(回)	人数(人)
5 以上 ~ 10 未満	0
10 ~ 15	3
15 ~ 20	3
20 ~ 25	9
25 ~ 30	5
合計	20

上体起こしの記録



③ ②の度数分布表を

見て答えましょう。

㉞ 15回以上20回未満の度数はいくつですか。

3

㉟ 回数が多い方から数えて7番目の人は、何回以上何回未満の階級に入りますか。

20回以上25回未満

ま な び をいかそう

1 次の表は、1組と2組の通学時間を調べた結果です。下の問いに答えましょう。

1組の通学時間

番号	時間(分)	番号	時間(分)
1	20	11	28
2	22	12	20
3	19	13	20
4	21	14	22
5	15	15	26
6	13	16	11
7	25	17	24
8	18	18	23
9	20	19	27
10	16	20	10

2組の通学時間

番号	時間(分)	番号	時間(分)
1	28	11	16
2	15	12	25
3	30	13	23
4	23	14	22
5	13	15	13
6	15	16	29
7	21	17	18
8	11	18	23
9	10	19	23
10	25		

- ① 1組、2組の最頻値、中央値、平均値をそれぞれ求めましょう。
平均値は、四捨五入して小数第二位まで求めましょう。

(1組)

最頻値 20分の4人がもっとも多い。

中央値 データの数が偶数のなので、
 $(20 + 20) \div 2 = 20$ (分)

平均値 $(20 + 22 + 19 + 21 + 15 + 13 + 25 + 18 + 20 + 16 + 28 + 20 + 20 + 22 + 26 + 11 + 24 + 23 + 27 + 10) \div 20$
 $= 400 \div 20$
 $= 20$ (分)

(2組)

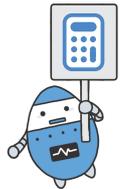
最頻値 23分の4人がもっとも多い。

中央値 データの数が奇数なので、中央の値になるから22分。

平均値 $(28 + 15 + 30 + 23 + 13 + 15 + 21 + 11 + 10 + 25 + 16 + 25 + 23 + 22 + 13 + 29 + 18 + 23 + 23) \div 19$
 $= 383 \div 19$
 $= 20.157\cdots$ (分)

答え 1組 最頻値 20分, 中央値 20分, 平均値 20分

2組 最頻値 23分, 中央値 22分, 平均値 約20.16分



ま な び をいかそう

1 次の表は、1組と2組の
通学時間を調べた結果です。
下の問いに答えましょう。



1組の通学時間

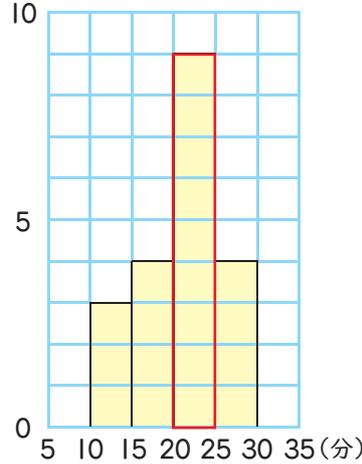
番号	時間(分)	番号	時間(分)
1	20	11	28
2	22	12	20
3	19	13	20
4	21	14	22
5	15	15	26
6	13	16	11
7	25	17	24
8	18	18	23
9	20	19	27
10	16	20	10

2組の通学時間

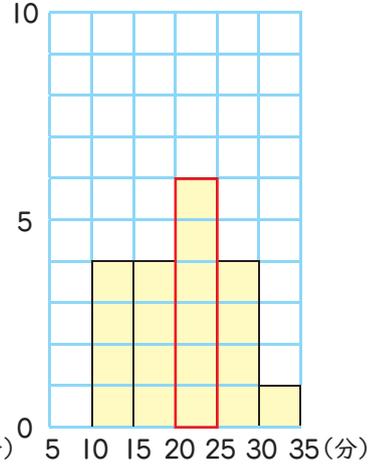
番号	時間(分)	番号	時間(分)
1	28	11	16
2	15	12	25
3	30	13	23
4	23	14	22
5	13	15	13
6	15	16	29
7	21	17	18
8	11	18	23
9	10	19	23
10	25		

- ② 右の図は、上の表をもとにして
柱状グラフに表したものです。
1組、2組のそれぞれについて、
次の問いに答えましょう。
- ㉞ 20分以上25分未満の階級の
度数はいくつですか。
また、この階級の全体をもとに
したときの割合は何%ですか。
わり切れないときは、四捨五入して
小数第一位まで求めましょう。

(人) 1組の通学時間



(人) 2組の通学時間



- (1組) 階級の度数…柱状グラフから、9
割合… $9 \div 20 \times 100 = 45$ (%)
- (2組) 階級の度数…柱状グラフから、6
割合… $6 \div 19 \times 100 = 31.57\cdots$ (%)
- 答え (1組)階級の度数 9, 割合 45%
(2組)階級の度数 6, 割合 約31.6%

- ㉟ 通学時間の短い方から数えて8番目の人は、何分以上何分未満の階級に入りますか。
- 1組 20分以上25分未満
2組 15分以上20分未満

- ③ ①の答えや②の柱状グラフを比べて、気づいたことを書きましょう。
(例)2組の方がちらばっている